

ラーケーションの日とは

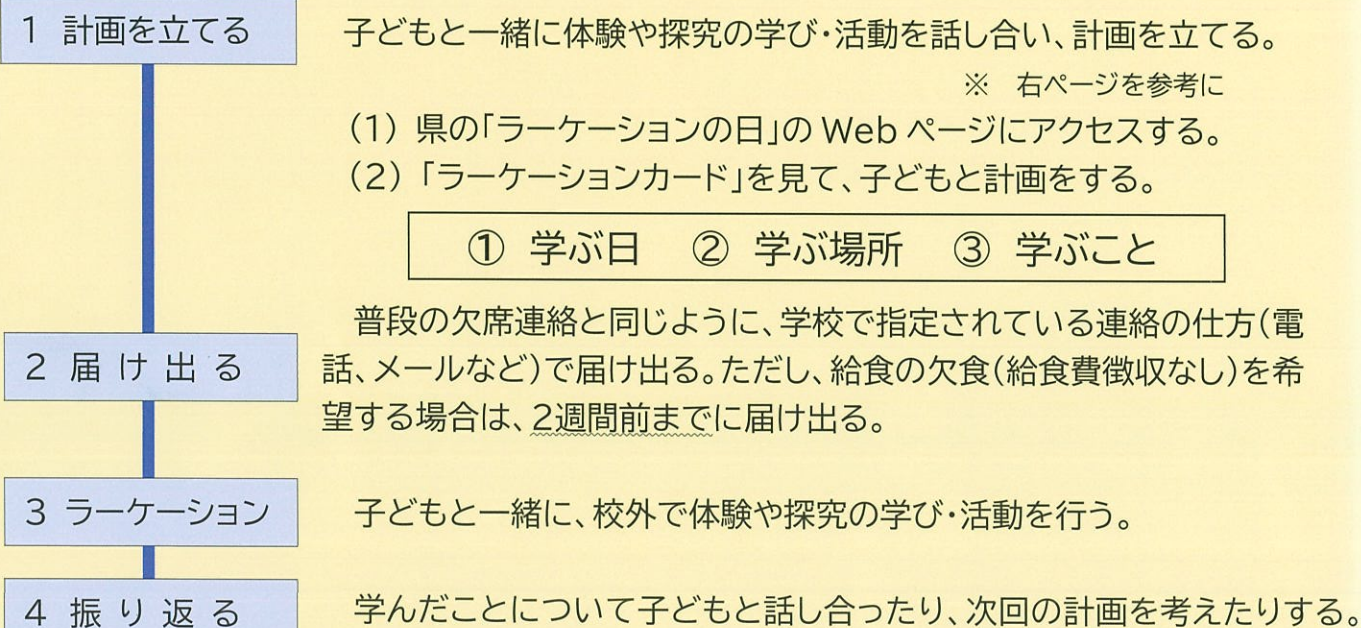
愛知県全体のワーク・ライフ・バランスの充実を目指す、「休み方改革」プロジェクトの中で生まれた「ラーケーションの日」は、「学び(ラーニング)」と「休暇(バケーション)」を組み合わせた愛知県発の新しい学び方・休み方です。

子どもが保護者等とともに、校外(家庭や地域)で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日 —— それが「ラーケーションの日」です。

校外での自主学習活動であるため、学校に登校しなくても欠席とはならず、「出席停止・忌引等」と同じ扱いとなります。

保護者等の休暇に合わせて届け出をし、年に3日まで取ることができます。(ただし、2023(令和5)年度については、10月以降の実施となるため、2日までとなります。)

ラーケーションの日 届け出の流れ



ご留意いただきたいこと

- 「ラーケーションの日」は、事前に届け出る必要があります。
- 2週間を切ったからの届け出分については欠食することはできません。
- 「ラーケーションの日」を取ることで受けられない授業の内容は、家庭で自習をします。
- 以下の期間は行事などの教育活動のため、ラーケーションの日を取ることはできません。

幸田中学校でラーケーションを
取ることができない日

10月3日(火)(3年岡崎学力検査) 10月10日(火)~14日(土)(幸中祭準備・幸中祭)
10月18日(水)~19日(木)(中間テスト) 11月20日(月)~22日(水)(期末テスト)
12月5日(火)(3年岡崎学力検査) 1月10日(水)(1・2年岡崎学力検査 3年学年末テスト)
1月29日(月)~31日(水)(2年スキー学習) 2月13日(火)~14日(水)(1・2年学年末テスト)
3月4日(月)~6日(水)(卒業式練習・卒業式) 3月22日(金)(修了式)

ラーケーションの日 活動のポイント

- ・ 家族で「一緒に過ごす時間」が大切です。
- ・ 「何について学ぶか」を事前に子どもと一緒に話し合ってみてください。そこから「ラーケーションの日」は始まります。
- ・ 遠くへ行かなくても、身近な場所にも「学びの種」はあふれています。家族と一緒に活動すると、新たな発見があるかもしれません。

■ 学びのキーワード ■

自然・科学・環境・実験・観察・産業
スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・
伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・
見学・創作・鑑賞・キャリア……

様々な学びを体験できる
ラーケーションスポットを
ポータルサイトで紹介して
います。



再発見！ 地域の史跡を巡ろう

平日は史跡をじっくり見学したり、ガイドさんから詳しく話を聞いたりできます。
地元や近隣にも意外と史跡はあるものです。



見つけた！ 公園の植物を調べよう

庭や公園で見つけた植物について親子で一緒に調べてみましょう。
学びのきっかけは身近なところにもたくさんあるはずです。



収穫の喜び 家族と一緒に農業体験をしよう



私たちが口にしている野菜は、どんな人の手で育てられ、どんな風に育っているのでしょうか。
収穫体験や農業体験など、ふだんできないことを家族で一緒に体験してみましょう。

親子で芸術家！ 様々な表現方法を知ろう



素敵な風景は初めて訪れる土地だけでなく自宅から近いところにもあふれています。
家族で同じ景色を見ながら絵をかき、表現の仕方を比べてみるのもよいでしょう。

五感を使って 自然と仲良くなろう

景色を味わう、鳥の声を聴く、空気をを感じる…五感を使って、自然に親しんでみてはどうでしょう。
観察をとおして生まれる発見や問いも大切にしたいものです。



気分はシェフ 授業で学んだことを生かそう

家庭科や総合的な学習の授業等で学んだことを生かして、実際につくってみましょう。家族だけのオリジナルレシピが完成するかもしれません。





Q1 愛知県は、どうして「ラーケーションの日」を作ったのですか。

A1 愛知県「休み方改革」プロジェクトでは、県全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域の活性化を目指しており、その一環として「ラーケーションの日」が生まれました。また、県内では、土曜日に働いている方が約45%、日曜日に働いている方が約30%おられ、休みの日に子どもと一緒に過ごすことが難しいご家庭が少なくありません。そうしたご家庭でも、平日の保護者が休みの日に、子どもと一緒に学び、活動することができる日として、「ラーケーションの日」を作りました。

Q2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますか。また、残った日数は、次の年に繰り越すことはできますか。

A2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますが、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q3 急きょ休みが取れることになった場合、前日に「ラーケーションの日」を届け出ることはできますか。

A3 前日でも、「ラーケーションの日」を届け出ることは可能ですが、しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの届け出をお願いします。なお、2週間を切った届け出分については欠食することができません。

Q4 「ラーケーションの日」に、どこかへ旅行に出かけてもよいのですか。

A4 ラーケーションは、ラーニング(学び)+バケーション(休暇)ですので、「学び」の要素が必ず必要です。学びの要素があれば、旅行に出かけることもできますが、大切な授業の代わりの活動ですので、家庭でよく話し合っ計画を立ててください。なお、どこかへ出かけなくても、ラーケーションは可能です。

Q5 どのような活動であればラーケーションになるのですか。

A5 ラーケーションは、①保護者と一緒に、②体験や探究の学び・活動です。そのため、①②を満たす活動がラーケーションということになります。前ページの「学びのキーワード」や活動例などを参考にして、子どもと話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせる必要があります。身近な場所にも、学びの種はたくさんあるはずです。

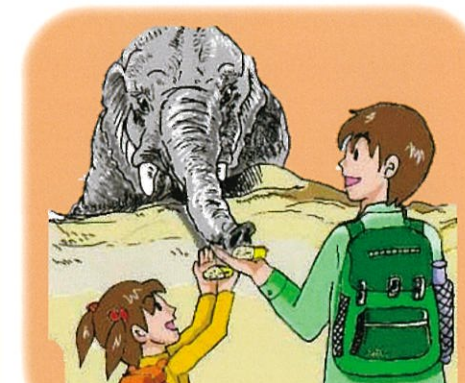
<お問い合わせ先>

■ 制度全般に関すること	愛知県教育委員会 義務教育課	052-954-6799
■ 届け出等に関すること	幸田町教育委員会 学校教育課	0564-63-5142
	幸田町立幸田中学校	0564-62-0043

愛知発の新しい学び方

「ラーケーションの日」

ラーニング バケーション
Learning (学び) + Vacation (休暇)



愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するために、「ラーケーションの日」をスタートします。

子どもの学び（ラーニング）と、保護者の休暇（バケーション）を組み合わせ、平日だからこそできる学校外での学習活動を、ぜひ子どもと一緒に計画してみませんか。

令和5年9月
愛知県教育委員会
幸田町教育委員会
幸田町立幸田中学校